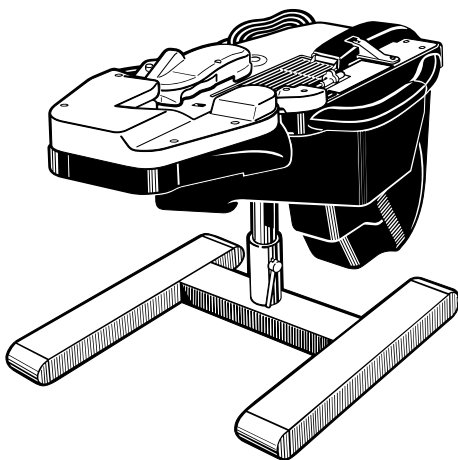
# マックス袋とじ機

# コニクリッパ®

# CK-232EV

## 取扱説明書

### ⚠ 警告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しない。
- ●使用電源は、必ず定格シールに表示してある電圧で使用する。
- ●感電事故防止の為、アース線を必ず接地（アース）する。
- ●揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- ●機械は必ず安定した台に固定する。
- ●電源スイッチが入っている時は、袋挿入口に絶対に指を入れない。
- ●電源スイッチが入っている時は、本体下側より本体内部に絶対に指を入れない。
- ●カッタ作動部には絶対に指を入れない。
- ●本機を移動する時には、必ず電源コードを所定の位置に巻き取り、ハンドルを持つ。
- ●本機を絶対に改造しない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。

### ⚠ 注意

- ●使用前に必ず、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているかを確認する。
- ●空打ちとなった場合、必ずクリップかしめ部にコニクリップが残っていないかどうか確認して取り除く。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

**このたびは、マックス袋とじ機「コニクリッパ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。**

■表示について

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| ⚠注意 | この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。 |

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

この記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

## 目　次

# 1 各部の名称

本　体
カッタユニット
ドア
空打ち防止センサー
グリス注入口
（グリスキャップ）
ハンドル
パイロットランプ
袋挿入口
マガジン
高さ・向き調整レバー
ベース
カッタユニット
カッタユニットロックレバー
カッタ作動部
本体後部
クリップ異常ランプ
電源コード
電源スイッチ
電源コード
巻き取り部
定格シール
電源プラグ
マガジンカバー
ヒューズホルダ
本体下側
クリップかしめ部
クリップ摺動部
フラップ

## 安全作業のために

本機は、青果物などの袋口をコニクリップで結束する事を目的とした機械です。
水を含んだ内容物の袋口止め用途には使用できません。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。特に機械にセットする前に、コニクリップ表面に油、ホコリ、水がついているとコニクリップが正常にとじられなかったり、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性があります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触れさせないでください。

**作業前**

### ⚠ 警告

**❶雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しない。**

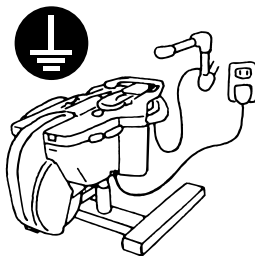
雨の中、水のかかる場所、湿気の多い場所、湿った場所では絶対に使用・放置しないでください。また、機械に水を絶対にかけないでください。感電事故やモータの絶縁不良につながり、危険です。

**※結露による水滴がつく可能性がありますので、本機を温度変化の激しい場所へ移動させて使用しないでください。**

❶

**❷感電事故防止の為、アース線を必ず接地（アース）する。**

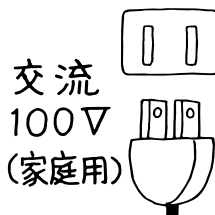
感電事故防止のため、アース線を必ず接地（アース）してください。なお、アース線をガス管等に取り付けることは、危険ですので絶対に行なわないでください。

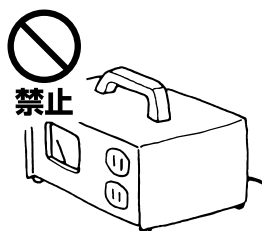
❷

**❸指定電圧で必ず使用する。**

必ず交流100V（家庭用）のコンセントで使用してください。指定電圧以外の使用、延長コード使用による電圧降下は故障の原因だけでなく発火、発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。

❸

## 安全作業のために

### ⚠ 警告

❹**本機の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。**

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

❺**電源コードは大切に扱う。**

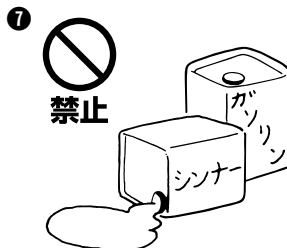
電源コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）の原因になります。また電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリスなどに触れないように注意してください。電源コードが破損した場合は修理に出してください。

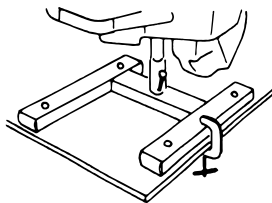
❻**火気には絶対に近づけない。**

❼**揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。**

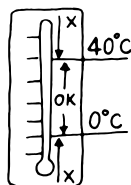
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対に使用しないでください。

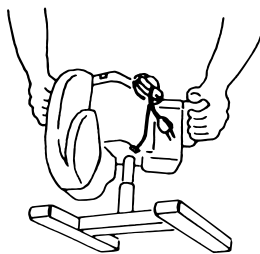
## 安全作業のために

### ⚠ 警告

**❽安定した台に固定する。**

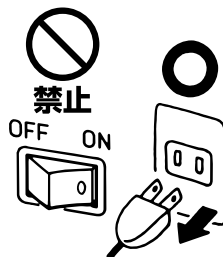
本機を設置する作業台の安定性が悪いと、倒れたりして危険ですので、安定した台を使用してください。また作業中に本機が動いたり、倒れたりすることのないよう、クランプ（別売品）またはベース部の釘穴を利用し、釘等で固定してください。

❽
**❾周囲温度が0℃～40℃の範囲で必ず使用する。**

周囲温度が0℃より低い場合は、コニクリップが充分なかしめ力でとめられない可能性があります。また40℃を超える場所で使用しないでください。

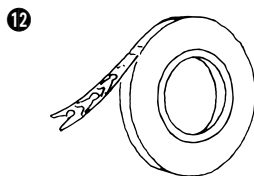
**※コニクリップの温度も0℃～40℃の範囲で使用してください。保存温度が0℃より低い場合や、40℃より高い場合は30分以上おいて周囲の温度になじんでからご使用ください。**

❾
**❿移動する際は、必ず電源コードを所定の位置に巻き取り、ハンドルを持つ。**

本機を移動する時にハンドル以外を持って移動すると、機械の損傷や思わぬ事故につながります。危険ですから、必ず電源コードを所定の位置に巻き取った後、ハンドルを持って移動してください。

❿
**⓫コニクリップ装填・交換の時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

⓫

### ⚠警告

**⓬指定のコニクリップを必ず使用する。**

指定されたコニクリップと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のコニクリップをご使用ください。(9ページ参照)

⓬

**⓭使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。**

使用前に品物が入っていないカラの袋を挿入し、本機が正常に作動するか確認してください。そのときに袋をとじているコニクリップの形状が図⓭の正常な状態になっているか確認してください。又、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、使用前に必ずコニクリップが充分なかしめ力でとめられているか、コニクリップが簡単に袋から抜けないか確認してください。結束したコニクリップの形状が異常だったり、機械が正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⓭

**⓮作業環境に応じた服を着用する。**

作業のじゃまになったり、機械に引き込まれたりすることのないような服、手袋などを着用してください。

⓮

**⓯作業場所を常に整理する。**

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓して作業を行ってください。

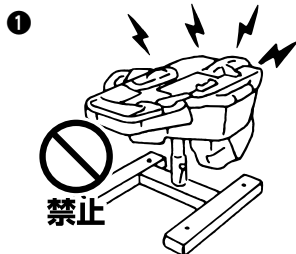
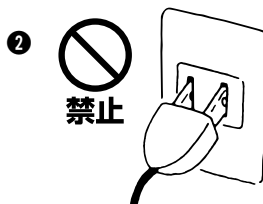
⓯

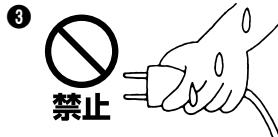
# 安全作業のために

## 作業中

### ⚠ 警告

**❶異常を感じたら絶対に使用しない。**

機械の調子が悪い時、異常に気付いた時は直ちに電源スイッチを切り、使用をやめ、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❶
**❷電源プラグは必ずコンセントの元まで差し込む。**

❷
**❸濡れた手で絶対に触れない。**

濡れた手で電源プラグを持つと、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。

❸
**❹電源スイッチが入っている時は、袋挿入口に絶対に指を入れない。**

袋の挿入口は送りユニットが作動しているところです。危険ですから絶対に指を入れないでください。

❹
**❺電源スイッチが入っている時は、本体下側より本体内部へ絶対に指を入れない。**

本体内部には、送りユニット、クリップかしめ部が作動しています。危険ですから、絶対に指を入れないでください。

❺

## ⚠ 警告

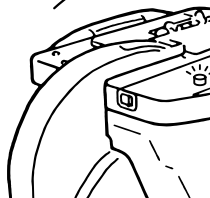
**❻カッタ作動部に絶対に指を入れない。**

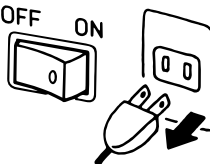
カッタ作動部ではカッタが作動しています。危険ですから絶対に指を入れないでください。また、袋の上側はカッタ作動部から離れた所を持って作業してください。

**❼空打ちを絶対にしない。**

結束物を挿入せずに空打ちをすると、本機の破損やトラブルの原因につながりますので、絶対に行なわないでください。

**❽2度打ちを絶対にしない。**

2度打ち（クリップかしめ部またはクリップ摺動部にコニクリップのあるうちに、機械を作動させること）をすると、本機の破損やトラブルの原因となりますのでさけてください。

**❾クリップ異常ランプ（緑色）点滅時は、必ず電源スイッチを切る。**

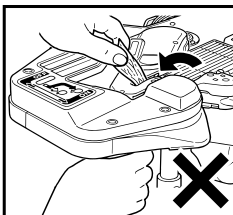
クリップかしめ部にコニクリップなど異物がある可能性があります。まず始めに電源スイッチを切ってから、取り除いてください。（20ページ参照）

**❿機械から離れる時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

短時間でも機械から離れる時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

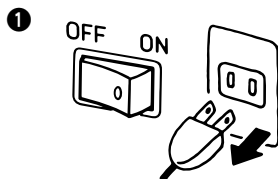
**⓫品物を挿入する時は、必ず袋の下側を持って作業を行なう。**

# 安全作業のために

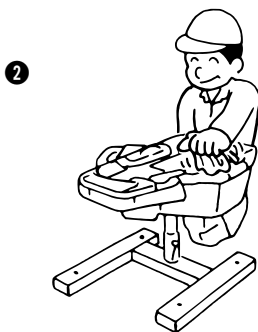
## 作業後

### ⚠ 警告

**❶使用後は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

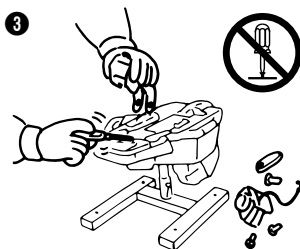
使用後は、電源スイッチが切れていることを確かめ、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

❶

**❷本機を大切に手入れする。**

より安全に性能を発揮させるため、作業後は必ず掃除を行い、ホコリ、ゴミを取り除き、乾いた布で拭いてください。濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは絶対に使わないでください。

❷

**❸指定された消耗部品交換以外は、本機を絶対に分解しない。**

指定された消耗部品（替え刃）の交換以外は本機を絶対に分解しないでください。
万一故障した時は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❸

**❹本機を絶対に改造しない。**

本機を改造すると本来の性能が発揮されないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に改造はしないでください。

❹

## 3 仕様及び付属品

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 商品名 | マックス袋とじ機 コニクリッパ |
| 商品記号 | CK-232EV |
| 寸法 | (W)356×(D)530×(H)328～418mm(カッタユニット下・カッタ位置:25mm)<br>332～422mm(カッタユニット上・カッタ位置:35mm)<br>※高さ・向き調整レバーで90mm高さ調整可能 |
| 質量 | 12kg |
| コニクリップ装填数 | 2,000枚 |
| 作動時間 | 0.4秒/1サイクル |
| 使用電源 | 交流100V(家庭用) 50/60Hz |
| 消費電力 | 230W |
| 使用ヒューズ | 6A |
| 使用温度範囲 | 0～40℃ |
| 付属品 | スパナ10 …… 1本<br>十ドライバー(NO.1ビット) …… 1本<br>アース線 …… 1本<br>専用グリス …… 1ヶ |
| 主な機能 | ●カッタON-OFF切換え機能(13・14ページ参照)<br>●空打ち防止機能(17ページ参照) |

〈コニクリップ使用範囲〉

| 商品記号 | CKS-230(各色) | | CKS-330N(各色) | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 袋種類 | ビニール袋 | | ネット袋(棒ネット) | |
| 袋幅 | 100～230mm | | 折径 | 240～320mm |
| 厚み | OPP | PE | 目数 | 80 |
| | 20～25ミクロン | 30～40ミクロン | | |
| 内容物質量 | 1,000g以下 | | 1,500g以下 | |
| コニクリップ色 | レッド、グリーン、イエロー、ホワイト、ライトブルー、ライトブラウン、ゴールド、ライトグリーン | | レッド、イエロー、グリーン | |

※内容物や袋の種類によっては充分な結束力が得られない場合があります。作動前に必ず確認し、ご使用ください。

# 使用方法

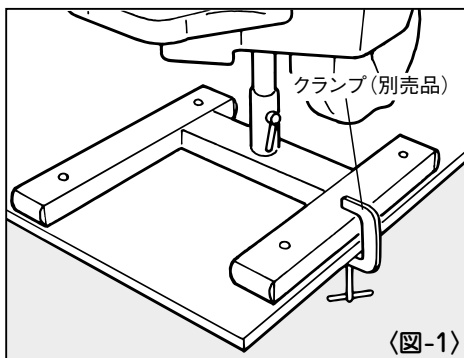
## ❶本機の固定

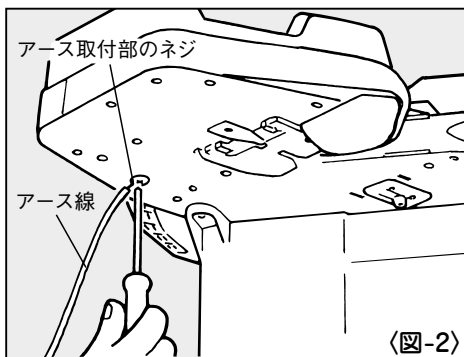
**⚠警告**

**●本機の固定・調整の時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

**●安定した台に固定する。**

1）本機の設置位置が決まりましたら、安定した台にクランプ（別売品）等で固定してください。 〈図-1〉

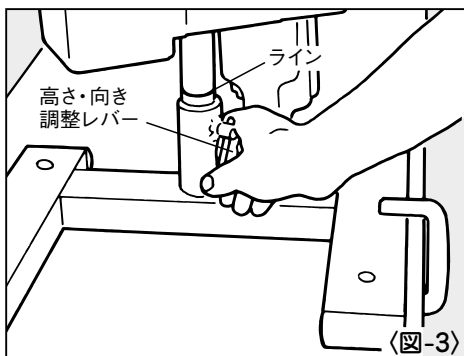
〈図-1〉

2）アース取付部のネジをNo.2ビットの＋ドライバー（別売品）ではずし、アース線を取り付け、接地（アース）してください。 〈図-2〉

〈図-2〉

## ❷高さ・向きの調整

高さ・向き調整レバーをゆるめ、作業に適した高さ・向きに調整してください。調整後は高さ・向き調整レバーをしっかり締め直してください。 〈図-3〉

**※高さ調整範囲→90mm**

**（最上位点では、支柱にラインが見えますので、それ以上は上げないでください。）**

〈図-3〉

### ❸コニクリップの装填

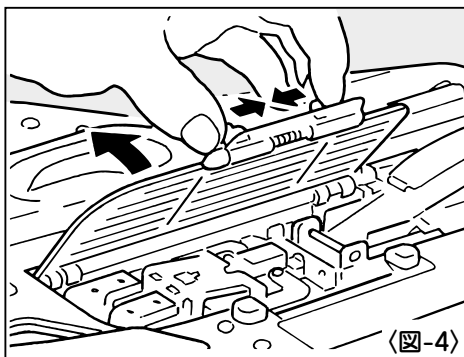
**⚠警告**

- **指定のコニクリップを必ず使用する。**
- **コニクリップの装填時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

**⚠注意**

- **袋の種類に合ったコニクリップを使用する。（9ページ参照）**

1）本体のドアを取っ手をつまんで開けてください。〈図-4〉

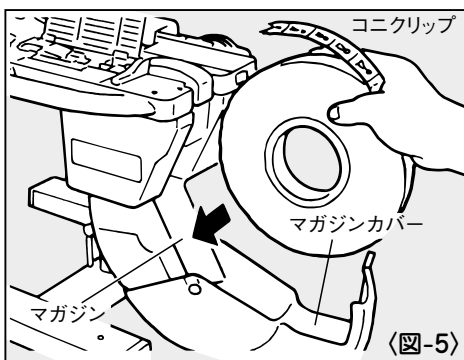
**※カッタユニットが「ON」の位置にある場合は、「OFF」の位置にセットしてからドアを開けてください。**
**（カッタユニットの「OFF」の位置へのセット方法については14ページ参照）**

〈図-4〉

**⚠警告**

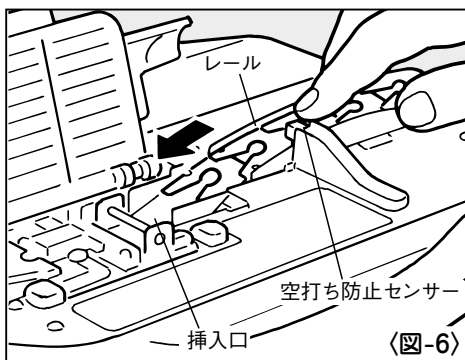
- **コニクリップの装填時以外は、コニクリップ表面を手で触らない。**

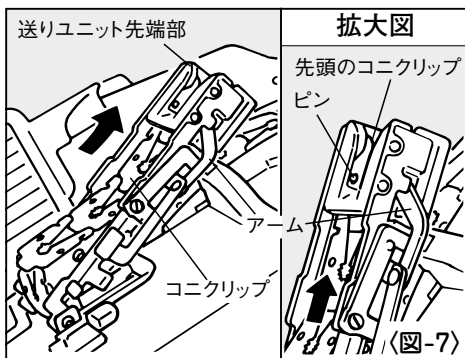
2）マガジンカバーを開けて、コニクリップを図のように引き出せるように、マガジンにセットします。〈図-5〉

**※コニクリップを止めているテープは、取り外してご使用ください。**

**※コニクリップのはずれにつながる可能性がありますので、コニクリップの表面に何度も触らないでください。また、極端な油、ホコリ、水を付けないでください。万一コニクリップ表面に油、ホコリ、水が付いた時は、乾いたきれいな布で拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。**

〈図-5〉

3) コニクリップをレールに沿って、挿入口から指で送り込みます。この時空打ち防止センサーの下を必ずくぐらせてください。 〈図-6〉

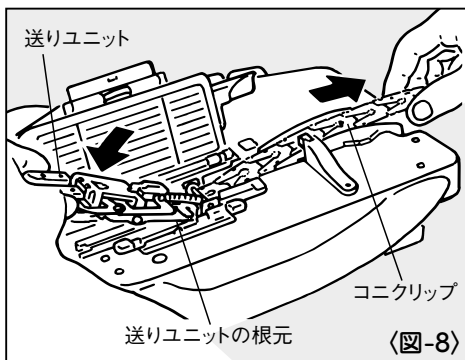
〈図-6〉

4) 送りユニットを起こして、コニクリップを矢印の方向に差し込んでください。
この時左右のアームについているピンとコニクリップの2つの穴が確実にセットされたことを確認してください。（カチッと音がします） 〈図-7〉

〈図-7〉

**⚠ 注 意**

**●マガジンカバー及びドアを必ず閉めて使用する。**

5) コニクリップをマガジン方向に引きながら、コニクリップが送りユニットの根元で折れ曲がらないように注意して、送りユニットを元の状態に戻してください。 〈図-8〉

〈図-8〉

6) マガジンカバーを先に閉じ、その上からドアを確実に閉めます。（この時、マガジンカバーの突起部がドアの穴部にセットされるようにしてください。）

**※ドアが確実に閉められていないと、袋を挿入口より挿入しても作動しないようになっています。**

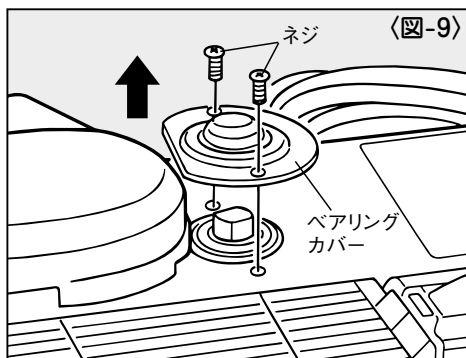
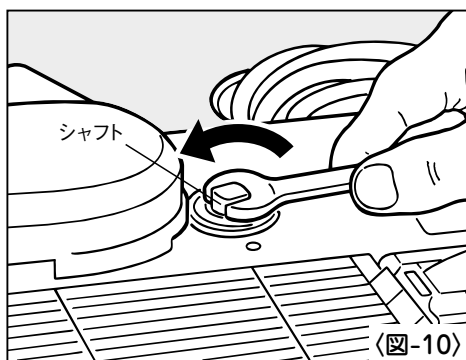
## ロック解除の仕方

送りユニットが前進した状態で本機が動かなくなった場合は、以下の手順でロックを解除してください。

**⚠ 注 意**

**●ロック解除時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

❶ネジ2本をはずし、ベアリングカバーをはずします。〈図-9〉

〈図-9〉

❷スパナ10でシャフトを左に回し、送りユニットを元の位置に戻します。〈図-10〉

❸ネジ2本を締めつけ、ベアリングカバーを取り付けます。

〈図-10〉

**❹カッタユニットのセット**

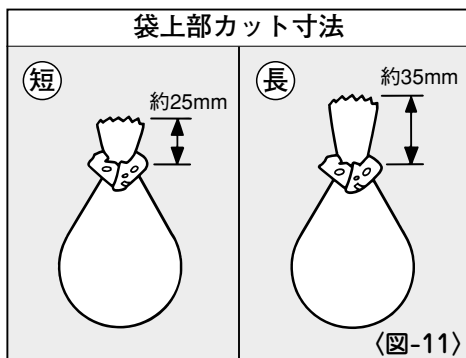
**⚠ 警 告**

**●カッタ作動部には絶対に指を入れない。**

本機は袋とじと同時にカッタを作動させて、袋上部を切り揃えることが出来ます。また、袋上部の寸法を約25mmと約35mmの2段階に切換えることができます。〈図-11〉

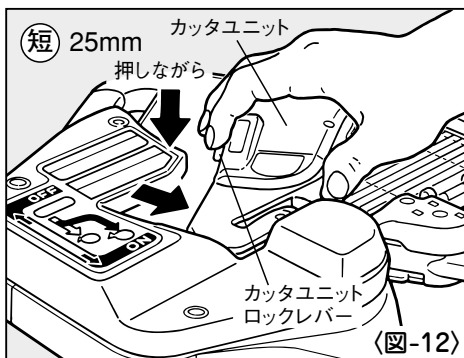
〈図-11〉

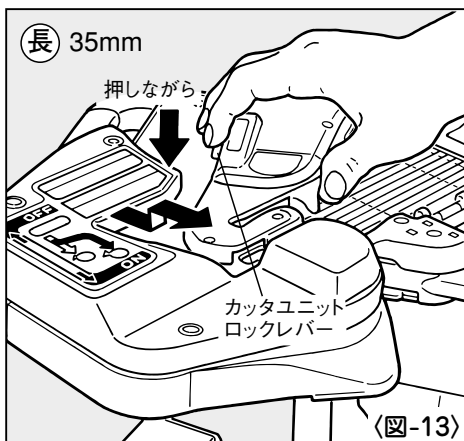
## カッタユニットのセット方法

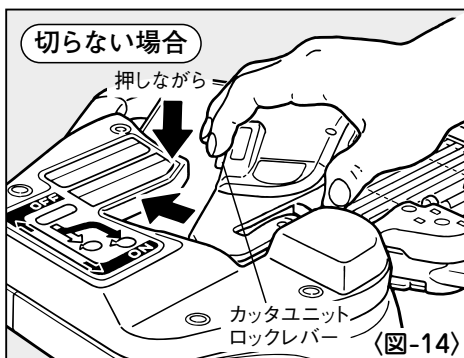
### ⚠注 意

**●カッタユニットは「ON」または「OFF」の位置で必ず固定する。**

袋上部の寸法を短く（約25mm）切り揃えたい場合は、カッタユニットロックレバーを押しながら、カッタユニットを「ON」の位置にスライドさせてください。

〈図-12〉

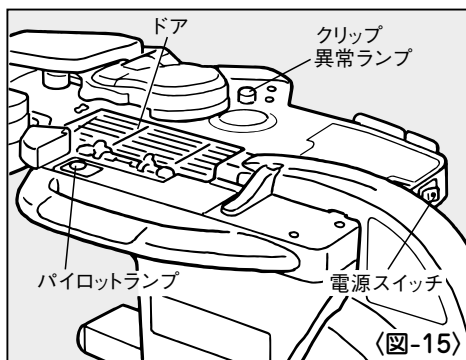
〈図-12〉

袋上部の寸法を長く（約35mm）切り揃えたい場合は、カッタユニットロックレバーを押しながら、カッタユニットを「ON」の位置にスライドさせ、図の位置で上に持ち上げながら、更に「ON」の方向に移動させセットしてください。 〈図-13〉

〈図-13〉

袋上部を切らない場合は、カッタユニットを「OFF」の位置にセットしてください。カッタユニットを「ON」の位置で使用している場合は、カッタユニットロックレバーを押しながら「OFF」の方向にスライドさせ、右図の位置にします。 〈図-14〉

〈図-14〉

**❺電源を入れる**

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れてください。**〈図-15〉**

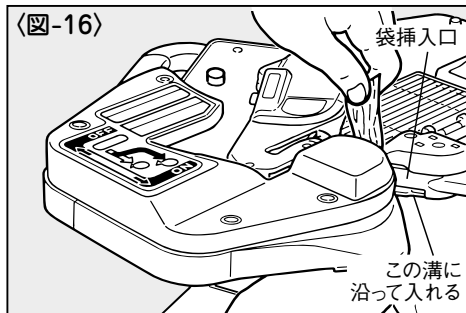
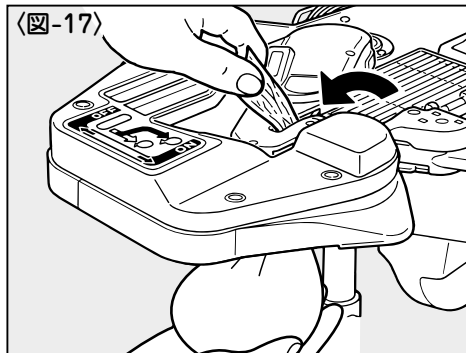
**※パイロットランプ（赤色）か、クリップ異常ランプ（緑色）が点滅した状態では袋とじができません。19ページを参照して対応してください。**

〈図-15〉

**❻袋とじ方法**

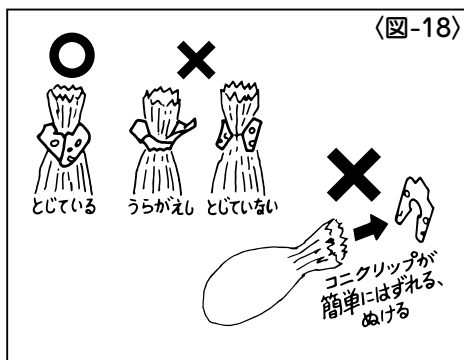
**⚠警告**

- **使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は使用しない。**
- **袋の挿入口に絶対に指を入れない。**
- **袋の上部は、カッタユニットから離れた所を持って作業する。**
- **本体下側から本体内部に絶対に指を入れない。**
- **2度打ちは絶対にしない。**

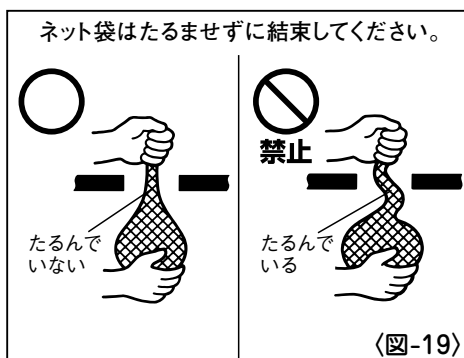
**⚠注意**

- **使用前に必ず、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているかを確認する。**
- **空打ちとなった場合、必ずクリップかしめ部にコニクリップが残っていないかどうか確認して取り除く。**

1）使用前に必ず正常に作動するか確認してください。品物が入っていないカラの袋を袋挿入口の溝にそって挿入してください。**〈図-16〉**

2）袋を矢印方向に引くと、機械が作動し袋がとじられます。**〈図-17〉**

3)とじ終った袋を取り出したら、袋をとじているコニクリップの形状が正常な状態になっているか確認してください。また、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、コニクリップが充分なかしめ力でとめられているか、コニクリップが袋から簡単に抜けないか確認してください。〈図-18〉

〈図-18〉

4)品物を入れた袋で1)～3)に従って作業を行ってください。ネット袋の場合は、コニクリップがネット袋から抜ける可能性がありますので、ネット上部をたるませずに結束してください。〈図-19〉

**※袋を極端に早く引き抜いた時などは、コニクリップが袋をとじられず、クリップかしめ部に残る可能性があります。そのような場合はクリップ異常ランプ（緑色）が点滅しますので、20ページを参照して残っているコニクリップを取り除いてから作業を再開してください。**

〈図-19〉

**❼コニクリップの補充**

**⚠警告**

**●コニクリップの補充時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

本機は、構造上コニクリップを使い切ってから、新しいコニクリップを補充していただくようになっています。コニクリップを使い切りましたら、パイロットランプがゆっくり点滅しますので、コニクリップの装填の手順で新しいコニクリップを装填してください。（11～12ページ参照）また作業中にコニクリップがなくなりますと、機械が作動しないようになっています。（※17ページ　空打ち防止機構参照）

●空打ち防止機構について

## 作動手順

1)空打ち防止センサー部にて、コニクリップが残り少なくなったことを検知します。この時、コニクリップの残り枚数（7枚）が記憶されます。

〈図-20〉

2)残り枚数を打ち終わると、機械は作動しません。（この時、パイロットランプはゆっくり点滅しています。）

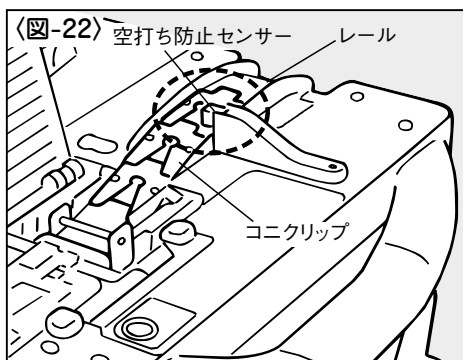
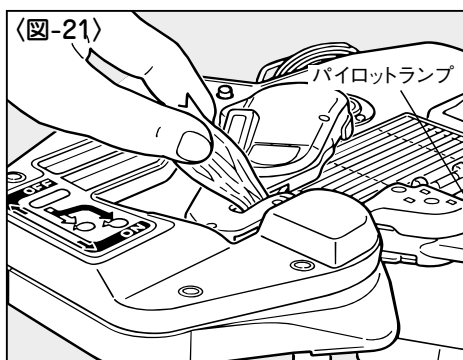
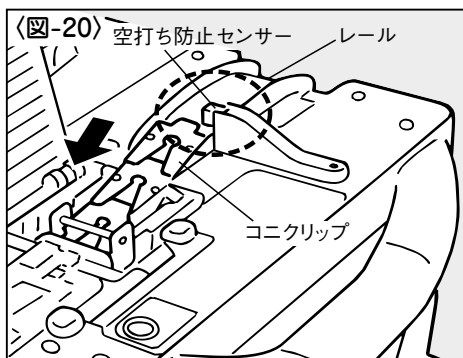
〈図-21〉

**※残り枚数検知後に電源スイッチを切ったり、電源コードを抜いても、その時点の残り枚数は記憶されています。**

## リセットの方法

新しいコニクリップを装填し、空打ち防止センサー部にコニクリップがある状態になると、記憶された内容はリセットされ、通常に使用が継続できます。

**※空打ち防止機構の作動が終了しても、何らかの原因で送りユニットにコニクリップが残っている場合は、機械は作動しません。そのような場合は、コニクリップを空打ち防止センサーの下に置いた状態にして、空の袋で残りのコニクリップを打ち終えてから、新しいコニクリップを装填してください。** 〈図-22〉

**※空打ち防止センサーがホコリなどで汚れると、コニクリップの残り枚数が検知できなくなります。そのような場合は、汚れを除去してください。**

## ❽コニクリップの抜き取り、交換方法

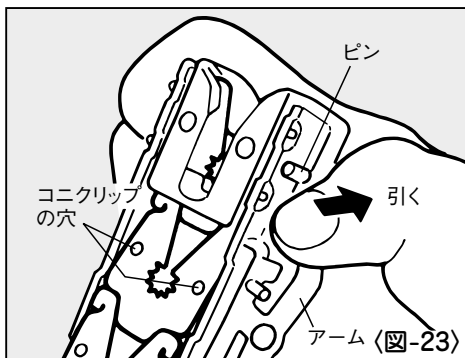
**⚠警告**

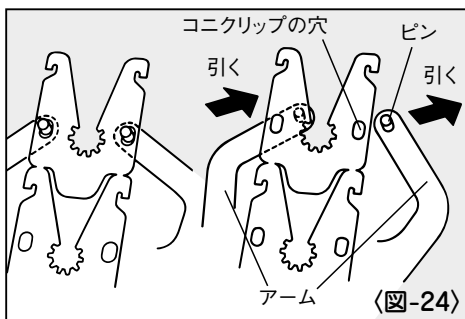
**●コニクリップの抜き取り、交換の時は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

1) カッタユニットを「ON」の位置で使用している場合は、カッタユニットを「OFF」の位置にセットしてください。
(14ページ参照)

2) 本体のドアの取っ手をつまんで開けてください。　(11ページ参照)

3) 送りユニットを起こします。
(12ページ参照)

〈図-23〉

4) 左右のアームを引き、コニクリップの穴からピンをはずします。
〈図-23〉〈図-24〉

〈図-24〉

5) 左右のアームを引きながら、コニクリップを抜き取ります。この時、一度矢印①の方向にズラしてから、矢印②のように抜き取ってください。　〈図-25〉

〈図-25〉

## パイロットランプ（赤色）・クリップ異常ランプ（緑色）の点滅について

本機には、機械保護のために機械が作動しない場合があります。その様な時は、下記状態に合わせ対応してください。

| 状　　態 | 確認事項 | 対　　応 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| パイロットランプ（赤色）が素早く点滅する | ドアは確実に閉まっていますか？ | ドアを確実にセットしてください。 | 12ページ |
| | カッタユニットは確実にセットされていますか？ | カッタユニットはを「ON」位置または「OFF」位置にセットしてください。（カチッと音がするまで） | 13・14ページ |
| パイロットランプ（赤色）がゆっくり点滅する | コニクリップが無くなっていませんか？ | 新しいコニクリップを装填してください。 | 11・12ページ<br>16・17ページ |
| パイロットランプ（緑色）が素早く点滅する | クリップかしめ部内にコニクリップなど異物が残っていませんか？ | 本体下部のフラップを開け、中にコニクリップなど異物が残っていないか確認し、取り除いてください。 | 20ページ |
| | コニクリップはしっかりとかしめられていますか？ | | |

もし上記の症状に当てはまらない場合は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱にご相談ください。

## 6 コニクリップなど異物の取り除き方

### ⚠警 告

**●コニクリップがクリップかしめ部に残ったままで機械を作動させない。**

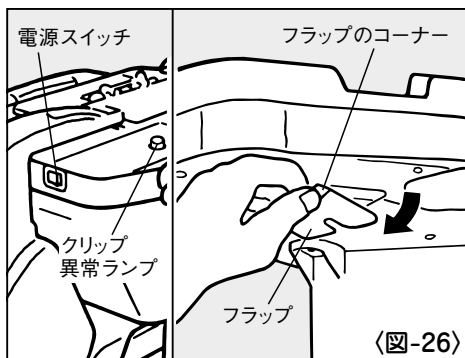
**●コニクリップを取り除く時は、指ではなく必ずラジオペンチ等の工具を使用する。**

クリップかしめ部にコニクリップなど異物がある場合は、クリップ異常ランプが点滅しますので、以下の手順で異物を取り除いてからご使用ください。
（異物は機械内部センサーで感知する方式です）

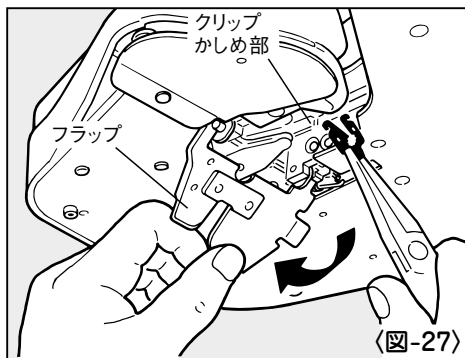
1)電源スイッチを切ります。 〈図-26〉
この時クリップ異常ランプ（緑色）が消灯します。

2)本体下側のフラップのコーナーを押して、フラップを開きます。 〈図-26〉

電源スイッチ
フラップのコーナー
クリップ
異常ランプ
フラップ

〈図-26〉

3)ラジオペンチ等の工具で、クリップかしめ部に残っているコニクリップなど異物を取り除いてください。 〈図-27〉

4)電源スイッチを入れ、作業してください。
**※クリップ異常ランプ（緑色）が再び点滅する時は、1)～4)の順番でクリップかしめ部に異物が残っていないかを再確認してください。**

〈図-27〉

なお、どうしても異物が取り除けない時や、クリップ異常ランプが点滅し続ける時は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に修理に出してください。

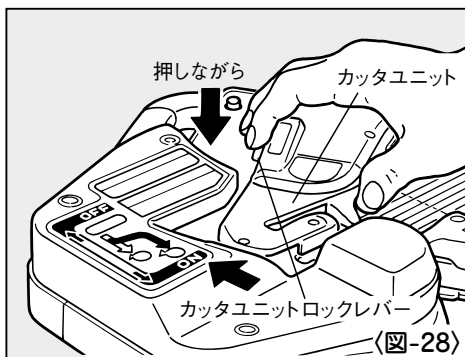
# 替え刃の交換方法

## ⚠警 告

●替え刃の交換を行う時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

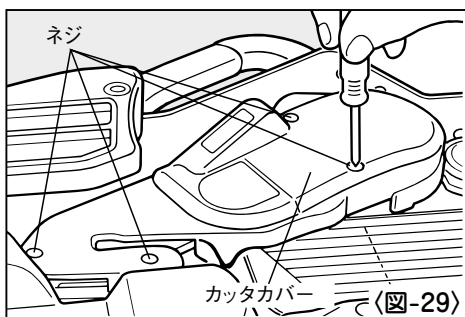
●替え刃の取り扱いには充分に注意する。

1) カッタユニットを「ON」の位置で使用している場合は、カッタユニットロックレバーを押しながら「OFF」の方向にスライドさせ、右図の位置にします。

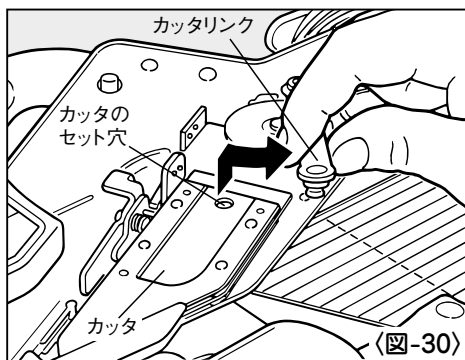
〈図-28〉

〈図-28〉

2) カッタユニットの上部4本のネジを付属の十ドライバー（NO.1ビット）ではずし、カッタカバーを開けてください。

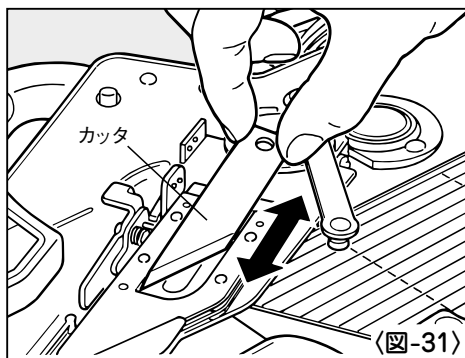
〈図-29〉

〈図-29〉

3)カッタリンクを持ち上げ、カッタのセット穴より外し、カッタを後方へスライドさせてはずします。　**〈図-30〉〈図-31〉**

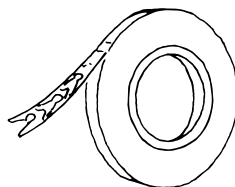
4)新しいカッタの向きを確認して差し込み、カッタリンクをセットします。**〈図-31〉**

5)カッタカバーを取り付けます。

**※カッタカバーの組付けが悪いとパイロットランプ（赤色）が素早く点滅します。点滅した場合は、組付けを再確認してください。**

〈図-30〉

〈図-31〉

# 性能を維持するために

**❶指定コニクリップを必ず使用する。**

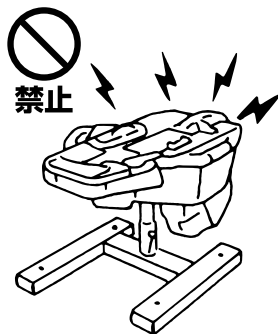
指定以外のコニクリップをお使いになると故障の原因になりますので、必ず指定のコニクリップをご使用ください。また、袋の種類に合ったコニクリップを使用してください。

**❷コニクリップに、油、ホコリ、水をつけない。**

コニクリップが充分なかしめ力でとめられず、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、コニクリップ装填時以外はコニクリップ表面を触らないでください。また、コニクリップ表面に油、ホコリ、水などがつかないように保管してください。

**❸2度打ちを絶対にしない。**

2度打ち（クリップかしめ部またはクリップ摺動部にコニクリップがあるうちに、機械を作動させること）をすると、本機の破損やトラブルの原因となりますのでさけてください。

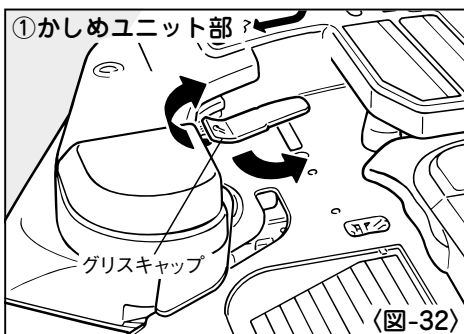
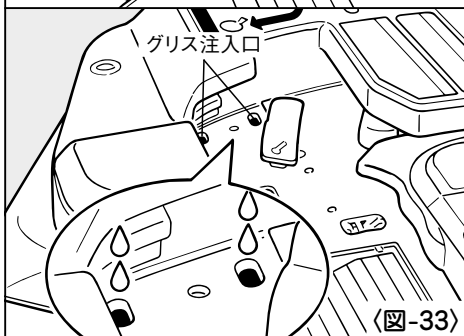
**❹異常を感じたら使用を中止する。**

異常を感じたら使用を中止し、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱にご相談ください。

## ❺定期的に専用グリスを塗布する。

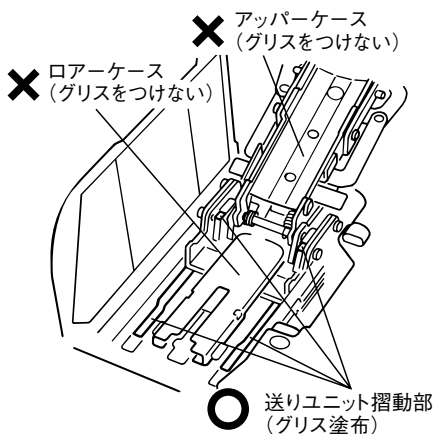
本機の性能を維持するために、使用回数10万回を目安に付属の専用グリスを指定箇所に塗布してください。指定以外のグリスの使用や、指定箇所以外への塗布は、機械性能の低下やトラブルの原因となります。

〈グリス塗布箇所〉

**①かしめユニット部**

1) カッタユニットを「OFF」の位置に戻してください。 （14ページ参照）
2) グリスキャップを右図の位置からめくり、支点を中心に矢印の方向に回転させてください。 〈図-32〉
3) 2ヶ所のグリス注入口（小判型）より、専用グリスを1〜2滴分を目安に注入してください。 〈図-33〉
4) グリスキャップを元の位置に戻してください。

〈図-32〉
〈図-33〉

**②送りユニット摺動部**

アッパーケース、ロアーケースにはグリスがつかないように注意してください。

## ❻定期的に点検する。

本機の性能を維持するために、使用回数100万回を目安にオーバーホールを行なう必要があります。ご用命はお買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

【結露について】

本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだ時などに、本体内部に水滴が付く可能性があります。温度差のある場所へ移動させて使用しないでください。
また、コニクリップの保存温度によっては、同様に結露による水滴が付く可能性があります。結露はコニクリップが充分なかしめ力でとめられず、搬送中に袋からコニクリップがはずれる可能性がありますので、温度差の激しい場所へコニクリップを移動させて使用しないでください。万一、結露した場合は、乾いたきれいな布で拭き取り、充分乾燥させてからご使用ください。

## 保証、アフターサービス、補修用性能部品について

### 【保証について】

●本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●本機の基本保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### 【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。
●保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

### 【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6－6 TEL（03）3669-8121㈹

**支店・営業所**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 札幌支店 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6－12－8 | TEL（011）261-7141㈹ |
| 仙台支店 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL（022）236-4121㈹ |
| 盛岡営業所 | 〒020-0824 | 盛岡市東安庭2－10－3 | TEL（019）621-3541㈹ |
| 新潟支店 | 〒955-0081 | 三条市東裏館2－14－28 | TEL（0256）34-2112㈹ |
| 東京支店 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL（03）3669-8101㈹ |
| 水戸営業所 | 〒310-0043 | 水戸市松ヶ丘2－3－27 | TEL（029）255-3761㈹ |
| 群馬営業所 | 〒370-0031 | 高崎市上大類町412 | TEL（027）353-7075㈹ |
| 長野営業所 | 〒399-0033 | 松本市笹賀8155 | TEL（0263）26-4377㈹ |
| 柏営業所 | 〒277-0871 | 柏市若柴297－12 | TEL（04）7132-1500㈹ |
| 千葉営業所 | 〒284-0001 | 四街道市大日1870－1 | TEL（043）422-7400㈹ |
| 名古屋支店 | 〒462-0819 | 名古屋市北区平安2－4－87 | TEL（052）918-8619㈹ |
| 静岡営業所 | 〒420-0067 | 静岡市葵区幸町29－1 | TEL（054）205-3535㈹ |
| 大阪支店 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL（06）6444-2035㈹ |
| 京都支店 | 〒612-8414 | 京都市伏見区竹田段川原町195 | TEL（075）645-5061㈹ |
| 神戸営業所 | 〒650-0017 | 神戸市中央区楠町6－2－4 | TEL（078）367-1580㈹ |
| 広島支店 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL（082）291-6331㈹ |
| 福岡支店 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL（092）411-5416㈹ |
| 南九州営業所 | 〒891-0115 | 鹿児島市東開町3－24 | TEL（099）269-5347㈹ |

**販売関係会社**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 埼玉マックス㈱ | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町3－421 | TEL（048）651-5341㈹ |
| 横浜マックス㈱ | 〒241-0822 | 横浜市旭区さちが丘7－6 | TEL（045）364-5661㈹ |
| 多摩営業所 | 〒190-0022 | 立川市錦町5－17－19 | TEL（042）528-3051㈹ |
| 金沢マックス㈱ | 〒921-8061 | 金沢市森戸2－15 | TEL（076）240-1873㈹ |
| 岡山マックス㈱ | 〒700-0971 | 岡山市野田3－23－28 | TEL（086）246-9516㈹ |
| 四国マックス㈱ | 〒761-8056 | 高松市上天神町761－3 | TEL（087）866-5599㈹ |

**マックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社・高崎サービスステーション | 〒370-0031 | 高崎市上大類町412 | TEL（027）350-7820㈹ |
| 埼玉サービスステーション | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町3－421 | TEL（048）667-6448㈹ |
| 札幌サービスステーション | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6－12－8 | TEL（011）231-6487㈹ |
| 仙台サービスステーション | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL（022）237-0778㈹ |
| 名古屋サービスステーション | 〒462-0819 | 名古屋市北区平安2－4－87 | TEL（052）918-8624㈹ |
| 大阪サービスステーション | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL（06）6446-0815㈹ |
| 広島サービスステーション | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL（082）291-5670㈹ |
| 福岡サービスステーション | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL（092）451-6430㈹ |

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**

**月～金曜日 午前9時～午後6時**

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。


4003183

130422-00/02